

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2002-293881(P2002-293881A)

【公開日】平成14年10月9日(2002.10.9)

【出願番号】特願2001-95781(P2001-95781)

【国際特許分類】

C 08 G	59/40	(2006.01)
B 32 B	15/092	(2006.01)
B 32 B	15/082	(2006.01)
B 32 B	15/09	(2006.01)
C 09 D	5/00	(2006.01)
C 09 D	163/00	(2006.01)

【F I】

C 08 G	59/40	
B 32 B	15/08	S
B 32 B	15/08	1 0 2 Z
B 32 B	15/08	1 0 4 Z
C 09 D	5/00	D
C 09 D	163/00	

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

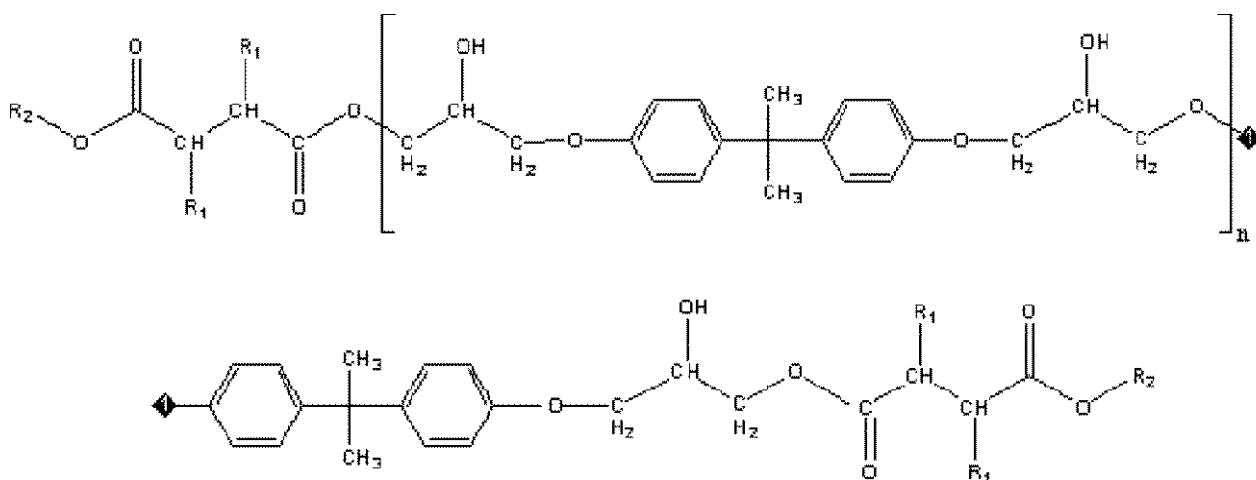
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】エポキシ樹脂(A)と、カルボキシリ含有ビニルモノマー(c1)、
、-エチレン性不飽和カルボン酸のアルキルエステル、ヒドロキシアルキルエステル及びN-ヒドロキシアルキルアミド及びN-アルコキシアルキルアミドから成る群より選ばれる少なくとも1種のモノマー(c2)、及び芳香族系ビニルモノマー(c3)を共重合させて成るカルボキシリ含有ビニルポリマー(C)とのエステル化反応により得られる三次元網目構造を有するミクロゲル体(G)を含む水性樹脂組成物と、一般式1で表されるポリエステル系オリゴマー(X)

一般式1

【化1】



(式中、R₁は水素原子、アルキル基、又はアルケニル基であり、R₂はアルキル基、アルキロイルアルキル基、又はアルケロイルアルキル基を表す)とが、媒体中に分散して成る樹脂組成物。

【請求項2】ミクロゲル体(G)を構成する、エポキシ樹脂(A)とカルボキシリ含有ビニルポリマー(C)との重量比(A):(B)が40~90重量部:10~60重量部である請求項1に記載の樹脂組成物。

【請求項3】エポキシ樹脂(A)が、1分子当たり平均0.5~2.0個のエポキシ基を有し、且つエポキシ当量が500~10,000であることを特徴とする請求項1又は2に記載の樹脂組成物。

【請求項4】ミクロゲル体(G)と、ポリエステル系オリゴマー(X)との樹脂固形分の重量比、X/(G+X)が、0.001~0.5であることを特徴とする請求項1~3のいずれか1つに記載の樹脂組成物。

【請求項5】請求項1~4のいずれか1つに記載の樹脂組成物を主たる成分とする金属被覆用樹脂組成物。

【請求項6】請求項5に記載の金属被覆用樹脂組成物からなるプライマー層を有するプライマー層付金属板。

【請求項7】請求項6に記載のプライマー層付金属板のプライマー層に液圧転写用フィルムのインキ層を液圧転写することを特徴とする、液圧転写成形物の製造方法。